

第20号 令和2年春号 伊予市立図書館

# としょかんだより

## 3月より臨時休館しています

図書館は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月より臨時休館しています。

4月より再開予定でしたが、伊予市新型コロナウイルス対策本部の決定により、5月6日まで休館が延長されることになりました。

当市や近隣市町の感染状況等により、今後5月7日以降も引き続き休館させていただくことになるかどうかが決まります。情報が更新され次第、当館ホームページ等にてお知らせします。

当館をご利用いただいている皆様には大変ご迷惑をおかけし申し訳ございませんが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 休館中の図書館の業務について

新型コロナウイルス感染の事態が収束し、当館の運営を再開させていただいた際に、皆様により安心・便利にご利用いただけるよう、当館職員は休館させていただいている間も様々な業務を行っています。

### 【蔵書点検】

図書館で、探している図書があるはずなのに見つからないという経験をお持ちの方がいらっしゃると思います。

蔵書点検とは、図書が本来あるべき書棚の場所にあるかどうかを確認し、行方不明の図書がないか点検する作業のことをいいます。

作業手順としては、図書にあるバーコードを一冊ずつ読み取り、その情報を基に所在不明図書の一覧表を作り、その図書を探し出すという流れです。



### 【配架チェック・整理整頓】

図書の所在を確認できれば、配架チェックを行います。この機会に間違った書棚に戻された図書がないか開館時より念入りに整理をし、背表紙にある分類記号順に並べていきます。

また、古い図書の閉架書庫への移動や、破損している図書の修理、リサイクルコーナー用の図書の抜き取り作業もします。

### 【書棚の清掃・図書の補修】

各書棚から図書を一旦抜き取って全ての書棚を拭くとともに、傷みのある図書を補修しています。

### 【図書データの整理】

図書は、当館ホームページにある「図書館システム」やOPAC（自動検索機）に、図書のタイトルや著者名、キーワードを入れると簡単に見つけることができますが、全集（1冊に複数のタイトルが編さんされているもの）のように、検索しても見つけにくいものもあります。

そのような状況を改善するために、図書一つ一つに必要なデータ情報を付け足し、余分なデータ情報を削除する作業を、難しい読み方や旧字体表記に悪戦苦闘しながら、地道に行っています。

#### 【パスファインダー作成】

「パスファインダー」は、テーマについて参考になる資料や情報を探すための手順等が簡単にまとめたものです。

中高生の課題等でよく質問を受けたテーマを取り上げたものや、職員に直接話しづらいデリケートな内容等について作成しています。

完成したパスファインダーについて、当館ホームページへの掲載や当館での配布を検討しています。



#### 【あかちゃん絵本紹介冊子の作成】

伊予市では、新生児の7か月健診の際、あかちゃんへ絵本をプレゼントするブックスタート事業を行っており、その際にお渡しする「あかちゃん絵本の紹介冊子」を作成しています。

定番の作品だけでなく、あまり知られていないけれど素敵な作品も選書しています。

当館でも配布する予定なので、絵本選びのご参考にしていただければと思います。

#### 【展示やイベントの準備】

一般図書・児童図書ともに、テーマを決めて選書を行い、展示の準備をしています。

また、坂の上の雲ミュージアムさんから資料をお借りし、「坂の上の雲」の期間限定特別展示の準備もしています。

更に、当館職員がテーマを決めて2冊ずつ選書した、絵本の福袋を限定40セットで準備しています。



#### 【『伊予市のむかし話伝説』の読み語り】

新型コロナウイルスの影響で、当館主催のおはなし会等のイベントが中止となりましたが、当館だけでなく、併設の文化ホールも、多くの使用キャンセルが出ました。

せっかく4月より正式オープンの予定だった文化ホールなので、何か図書館として利用できないか、また、閉館中に市民の皆様にごく「お話」をお届けできないかと考えた結果、当館職員が文化ホールで無観客の読み語りを行い、その映像を皆様に配信する運びとなりました。

読み語りする図書は、『伊予市のむかし話伝説』（伊予市教育委員会/編集・発行）です。

お聞き苦しいところもあるかもしれませんが、この動画を通じて伊予市の先人たちが何を考えどう生きていたかを皆様に知っていただき、どう生かしていくかを考えるきっかけとしていただければ幸いです。

※この読み語りの動画は、動画共有サービス「YouTube」の「伊予市文化交流センターIYO 夢みらい館」チャンネルからご覧いただけます。



# 古典文学講座をのぞいてみよう！

図書館では毎年、松山東高等学校等で教師をされていた篠崎清志先生をお迎えし、毎月第1・3木曜日に古典文学講座を開催しています。源氏物語を分かりやすく、楽しく学ぶことができる講座です。

## 【篠崎先生のメッセージ】

今回は玉鬘（たまかづら）という女性について書きます。

名前の玉鬘とは、蔓性植物で支えなければ立つことも出来ない弱い花ですが、場所はどこでも蔓をのばし栄える芯の強い植物です。幼くして母を失いましたが、強く美しく生きた娘を暗示したものです。

源氏物語の中で玉鬘はかぐや姫と言われます。ひどく人間臭いかぐや姫です。かぐや姫は聖なる月の世界から追放されて、俗なる地上世界をさすらい、苦難の末に再び月世界に帰っていきます。

この口マンの中に人間の苦悩や不幸、美や理想が人生の影と光のようにあざやかに対比されています。玉鬘の一生も若い日の苦難や不幸が後年の幸せとあざやかに対比された劇的な女性の一生です。

玉鬘は、内大臣（若き日の頭中将）が愛人夕顔に産ませた子どもですから、高貴な身分なのですが、苛酷な運命のいたずらによって、苦難の少女時代、青春時代を送ったのです。

思えば17年の歳月が流れていましたが、源氏は薄幸のうちに、六条御息所の生霊にとりつかれ没した可憐な玉鬘の母、夕顔の面影を忘れかねていました。夕顔の侍女右近は源氏に引き取られ、残された子の玉鬘のことを忘れはしませんでした。

一方、玉鬘の乳母は母夕顔の行方を知ることができないまま、九州地方官に任命された夫に従って、3歳の玉鬘を連れて遠く筑紫に下っていました。聡明な乳母の躰と教育によって、玉鬘は田舎育ちとは思えないほど気高く美しく成長しました。

しかし、あまりの美しさゆえに愛の苦悩が待ち受けていました。かぐや姫のように多くの男たちに強く求婚されたのです。なかでも、肥後熊本の勢力ある豪族が、乳母の次男と三男を買収して玉鬘をものにせんと迫ってきます。

乳母、命がけで長男と共に早船を駆って京へ逃れます。17年の歳月、都にはもう知人も頼るところもありません。幸運を開きたいと奈良、長谷の観音様に参詣しました。この宿所で玉鬘を探し出そうと祈願に来ていた右近と、はからずも再開するのです。右近からの知らせ、驚喜した源氏、六条院に養女として迎えます。

忽ち、宮廷社会、玉鬘の素晴らしい美しさは大評判、蛍の宮、柏木や夕霧など貴公子たちのプロポーズ的になります。源氏も自分の妻にしようかなどと思ったりします。玉鬘は、今度は養父になった源氏の好きものめいたふるまいに困惑するのです。

ある五月雨の夜、源氏は策略をします。それとも知らない義弟蛍の宮、玉鬘の寝所に忍び込みます。源氏は二人の様子を盗み見していましたが、すかさず薄紙に包んでおいた多数の蛍を放ちました。その青い光の中、ほのかに映し出された玉鬘のあやしげな美しさに、ますます恋心を募らせ歌に託して贈ります。しかし、玉鬘の「声はせで身をのみ焦がす蛍こそ言ふよりまさる思ひなるらめ」（声にはしないが身を焦がしている蛍の方が口に出して愛を語るあなたより思いの深さは勝っているのじゃないか）と冷たい返事に、やるせない恋心に沈みます。玉鬘は、源氏や蛍の宮のおぞましい愛欲の未練心に困惑します。



蛍に映し出された玉鬘

12月、冷泉帝大原野御幸があり、玉鬘は見物に出かけて初めて実父、内大臣を遠望します。源氏は、玉鬘を内大臣に会わせようとして、兼ねてから要望のあった尚侍（ないしのかみ）にしようとして裳着の式を行い、腰結の役にしてそれとなく会わせるのです。内大臣は涙を抑えきれませんでした。



なぜ、これ程までに玉鬘は苦難に陥るのでしょうか。紫式部は、玉鬘が苦難の試練によって幸福へ高くジャンプできることを示したのです。幸せへのプロセスとしての試練だったのです。「試練によって人生を踏み外したりしないで、幸せになるジャンプのエネルギーを蓄積しておきなさい」と。

何よりも玉鬘の最大の試練は突然の不本意な結婚でした。最も武骨で嫌っていた髭黒の大將に略奪結婚させられたのです。当然のこと、玉鬘は養父、源氏や貴公子、蜷の宮の優雅さを忘れられず、髭黒には打ち解けず落ち込んだ日々を送っていました。

しかし、人生は何が幸せかわかりません。この夫となった髭黒の大將は、実に誠実でやさしく、理想的な男だったのです。一夫一妻多妾の世にあって、一途な純情さ、玉鬘だけに愛情をそそぎ、正妻として大切にしましたのです。一方で、政治家としても実力を持ち、玉鬘を幸せにするのです。

かくして、玉鬘は三男二女の子どもに恵まれて平穏な幸せな後半生を送るのです。長い間の試練が報われたのです。

紫式部は「男は外見上、ダサイ感じで、取っつきにくいと感じても男らしいやさしさを持っている素晴らしい男もいます。また、女性の憧れの的であるカッコイイ素敵なお男は必ずしも女性を幸せにするとは限りません。」と私たちに教唆してくれます。



## 源氏物語 短歌 入選作

受講生の皆さんが、講座で学んだ源氏物語の中から印象に残った場面を短歌にしました。

金賞 篠崎 照代  
横笛が董に渡るその日まで  
音色と共に幸せ祈る

金賞 柏原 啓子  
二の宮は千々に乱れる夕霧に  
皇女の誇り凜と守りし

銀賞 納田 久美子  
子の弔い親の嘆きは如何ばかり  
時を越えても同じ情なり

銅賞 西岡 敬子  
出家して心閉ざすも許されぬ  
針のむしろの悲しい姫君

銅賞 岡本 万里  
まめ男恋の手管を知らずして  
押しの一手で一人相撲

銅賞 藤井 公子  
霧深し恋しい宮に夕霧は  
胸の思いを松風にたくし

入選 源田 菊恵  
吾子の顔みることもなく散る命  
父母の悲しむ心もしらず

## あなたも受講してみませんか？

『源氏物語』は長編のため、連年で読み進めています。今年度は、「夕霧」の昨年度の続きから始めます。

- ・日時 毎月第1・3木曜日（月によって変更あり）午前9時30分から11時まで  
全20回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止等により休講の場合有
- ・場所 IYO 夢みらい館（伊予市文化交流センター） 2階 会議室201
- ・受講料 年間4,000円（5月21日の開講時にご持参ください。）
- ・申込 当館ホームページや図書館にある申込書に記入のうえ、5月11日（月）までに図書館へご提出ください。

※開催時の様子を見学することもできます。事前に図書館へご一報ください。

